

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公共下水道特別会計操出金	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	4	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	下水道課			
施策	224上・下水道の整備	担当課室長	貞方 敦雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き、コスト縮減と特定財源の確保による操出金の抑制に努めるが、今後の下水道整備計画について、汚水処理構想の見直しと併せて検討する。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	建設費のコスト縮減と受益者負担金及び下水道使用料の確保による操出金の抑制に努める。
②①に基づく取り組み結果	平成27年度当初予算額625,100千円に対し、561,655千円(決算額)に減額し、操出金の抑制に努めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公共下水道区域内に居住している市民	意図(対象をどうするのか)	公共下水道整備による生活環境の改善
②事務事業の概要	事業認可を取得している区域の管渠整備を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	鎌ヶ谷市における公共下水道は、昭和49年に事業着手し、平成27年度末で整備面積約672ha、普及率62.8%となっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	地形や周辺環境を鑑み、効率的な工法を検討し、小型人孔などを導入してコスト縮減を図った。さらに江戸川左岸流域の集合分譲団地の接続により下水道普及率が3.7%増加した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	下水道普及率	57.4	59.1	62.8	%	業務取得
	ii	水洗化戸数	25,111	25,665	27,460	戸	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	492,205	561,655	金額(千円)	内容	592,000		
国支出金(千円)							
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	492,205	561,655	561,655	操出金	592,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成26年1月に国から今後10年程度を目途に汚水処理の概成(整備が概ね完了すること)が掲げられ、平成27年度に策定した本市汚水適正処理構想に基づき、下水道整備を拡充する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	下水道法各種法令に基づき、都市の健全な発達、公衆衛生の向上、公共用水域の水質を保全していくために、下水道整備を拡充していく。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	公共下水道整備 3.4ha	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	既成市街地事業 汚水18ha	625,100	561,655	当初	625,100	561,655	H26からの繰越	0
				H26⇒27繰越	0		現年分	561,655
③達成状況	完了			補正	-63,445			
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
				平成28年度への繰越額(単位:千円)		0		